

授業概要

経済学の基本的理論と今日の主要な課題を講義する。今日の経済学の問題点を理論的に理解し、そのうえで今日の経済問題について情報に流されることなく、自分で考える能力を少しでも身に着けることを目標とする。講義の主題は経済理論と現実経済の概要である。学生が基本的な経済学の考え方と理論を理解し、時事的な経済問題を分析できるように指導していきたい。

授業計画

| | |
|--------|------------------|
| 第 1 回 | 経済学と経済社会(ガイダンス) |
| 第 2 回 | 世界経済の歩み―第二次世界大戦後 |
| 第 3 回 | ヨーロッパ経済統合の軌跡 |
| 第 4 回 | 日本経済の現状 |
| 第 5 回 | 福祉国家と財政危機 |
| 第 6 回 | 市場経済と市場の外部 |
| 第 7 回 | 労働の役割と労働生産性について |
| 第 8 回 | 生産の仕組み |
| 第 9 回 | 生産と価値の形成 |
| 第 10 回 | 貨幣の機能 |
| 第 11 回 | 景気循環と失業(理論) |
| 第 12 回 | 需要と供給 |
| 第 13 回 | 成長と停滞の経済学 |
| 第 14 回 | 新自由主義(米・英の違い) |
| 第 15 回 | 国際経済の変容 |
| 第 16 回 | 期末試験 |

到達目標

経済学の基本的な理論を理解すること。経済学の仕組みに関する基本的な知識を理解すること。

履修上の注意

経済問題に関心を持つこと。ノートや資料を中心に学習すること。シラバスに記載はないが、理解度の確認のため適宜確認テストを課す予定。

予習・復習

ノートや資料を整理して理解を深めること。確認テストがあればテストをやり直すこと。

評価方法

期末試験(50%) 確認テストもしくは課題(50%)

テキスト

授業中に参考文献を指示する。